



# 岐阜薬科大学

Gifu Pharmaceutical University

2023 大学案内

GIFU PHARMACEUTICAL UNIVERSITY

# 踏み出そう!あなたの未来へ この岐阜薬科大学から——

医療機関、製薬企業、研究・教育機関、行政機関などにおいて、  
薬のスペシャリストとして活躍する薬剤師・薬学研究者へと成長する意欲と自主性に加え、  
健全な倫理観と基礎的なコミュニケーション能力を持ち、  
薬学を学ぶ基礎としての高等学校教育における学力を  
十分に身につけた学生を求めます。



## CONTENTS

- |                                   |                                |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| <b>2</b> 沿革                       | <b>17</b> 研究室(専門/基礎/寄附/共同研究講座) |
| <b>3</b> 学長挨拶・組織                  | <b>19</b> 附属施設                 |
| <b>4</b> 入学に関する受入方針(アドミッション・ポリシー) | <b>20</b> 国際交流                 |
| <b>5</b> 薬学科                      | <b>21</b> キャンパスライフ             |
| <b>7</b> カリキュラムマップ・コース説明          | <b>23</b> クラブ紹介                |
| <b>9</b> 研究室(薬学科/薬科学科)            | <b>25</b> 進路                   |
| <b>15</b> 大学院                     | <b>26</b> 入試データ・奨学金            |

## 岐阜薬科大学の誕生・発展・充実

- 昭和 7年 4月 全国初の市立の岐阜薬学専門学校として創立
- 昭和 24年 3月 学制改革により岐阜薬科大学として新たに発足
- 昭和 28年 4月 大学院修士課程を設置
- 昭和 40年 4月 大学院博士課程を設置
- 昭和 40年 10月 キャンパスの移転と拡充(現三田洞キャンパス)
- 昭和 52年 8月 乗鞍山麓に薬草栽培のための子の原川島記念演習園を開設
- 昭和 57年 10月 創立50周年を記念して、教育研究総合センターを建設
- 平成 2年 10月 市制100周年記念事業として、生物薬学研究所を建設、  
バイオテクノロジー部門を強化
- 平成 9年 3月 村山記念情報教育センターを開設
- 平成 10年 9月 附属薬局を開局
- 平成 11年 3月 薬草園管理舎を新築
- 平成 16年 6月 附属薬局を移転
- 平成 18年 4月 薬学教育6年制に伴い、学部を薬学科と薬科学科の2学科に改組
- 平成 22年 4月 新学舎に本部を移転
- 平成 24年 9月 創立80周年記念事業を実施
- 平成 26年 1月 博士(薬学)とMBA(経営管理修士)のダブルディグリー取得を目指す  
プログラムを中京大学と提携
- 平成 29年 4月 薬科学科の学生募集を停止
- 平成 29年 12月 モバイルファーマシーの導入



■ 創立当時の学舎



■ 三田洞キャンパス/学部1回生から3回生



■ 本部キャンパス/学部4回生以上・大学院生



学長 原英彰

President  
Hideaki Hara

本学は、1932年に岐阜市立の岐阜薬学専門学校として設立され、その後、1949年の学制改革に伴い岐阜薬科大学として発足しました。以来90年に及ぶ歴史の中で、建学の精神である「強く、正しく、明朗に」をモットーに高邁な人格形成と、「人と環境にやさしい薬学、安全・安心を提供できる薬学」いわゆる「グリーンファーマシー」を基本理念とした高度な研究に支えられた薬学教育を通じ、人の健康と福祉に貢献できる有為な薬学専門職業人の育成に努めてまいりました。

その間、約1万3千人を超える卒業生が、製薬企業や医薬品販売業等の医薬品業界、病院や薬局等の医療機関、国や地方公共団体等の行政機関、更には大学や研究機関等幅広い分野で活躍していることは、本学の誇りとするところであります。

さて、本学の教育体制としては、2017年度入学試験から、卒業後はすべての学生が国家試験を受験できる6年制の薬学科に統一しました。その上で、本学が有する長い歴史と伝統に立脚した創薬・育薬等に携わる研究者の育成を堅持するため、「医療薬学コース」と「創薬育薬コース」の2コースを新たに設置しました。

研究体制としては、「伝統の中からこそ真の改革的教育・研究が生まれる」との信念のもと、化学物質探索等の基礎薬学分野から臨床試験等の臨床薬学分野まで育薬と創薬に係る幅広い研究を進めております。また、社会のニーズに適切に対応できる研究を推進するため、民間企業出資による寄附講座及び創薬ベンチャーとの共同研究講座、併せて8講座を開設し、教育・研究を進めています。また、2008年度からは岐阜大学の医学・工学の教育・研究組織と連携し「岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科」を設置し、安全で有効な個別化治療に関する研究等を進めております。さらに名古屋大学大学院医学研究科、名古屋大学大学院創薬科学研究科及び名古屋市立大学のそれぞれの大学と本学との間に連携協定を締結し、創薬研究の連携強化、研究者の交流及び研究施設・設備の相互利用等を推進しております。

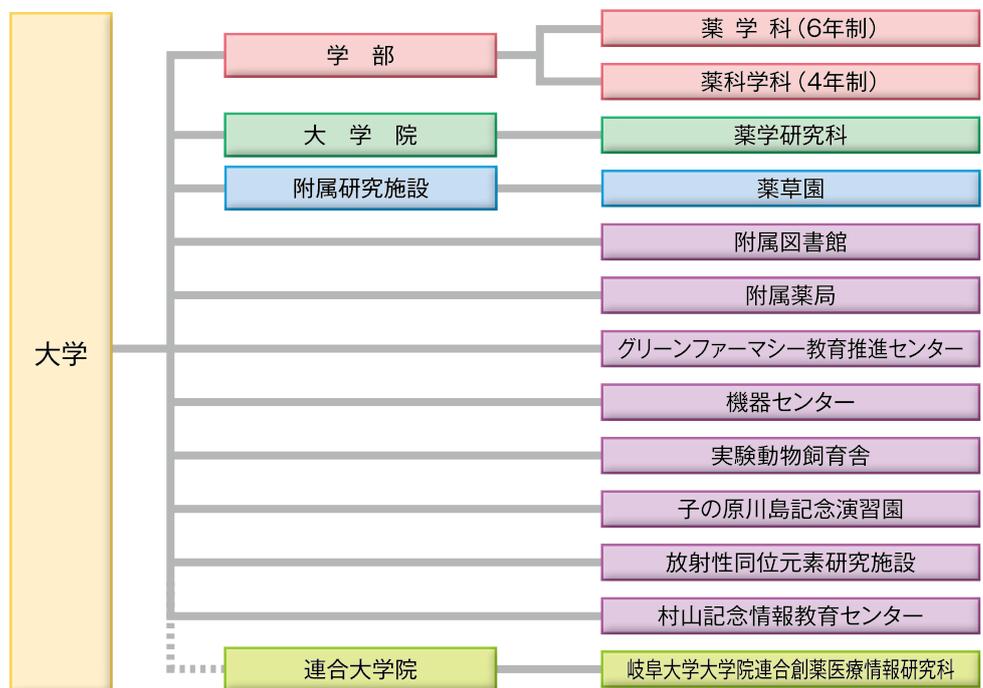
地域貢献としては、教育・研究の成果を社会に還元するため、「地(知)の拠点」として、生涯教育や市民講座を始めとする市民を対象とした教育講座や、地域の薬剤師の生涯学習支援体制を充実させるリカレント講座、更には行政や企業等の機関が主宰する科学技術プロジェクト等に参加するなど、地域社会に貢献しております。また、グローバル化する社会にあって国際交流を一層推進するため、現在中国薬科大学、フロリダ大学等の10大学と学術協定等を締結し、共同研究や学生の交流等グローバル化社会に対応できる人材の育成にも努めております。

本学におきましては「教育」、「研究」、「社会貢献」を大学の3つの柱として、高度な研究に裏付けられた教育のできる大学を目指します。また、伝統的に培ってきた創薬等に関する教育・研究の成果を世界に発信できる大学として、世界に通じる薬剤師・研究者(Pharmacist-scientists)の育成を行っていくことによって、次世代を切り拓く強い大学に向け一層発展し続けてまいります。

組織

教育研究組織図

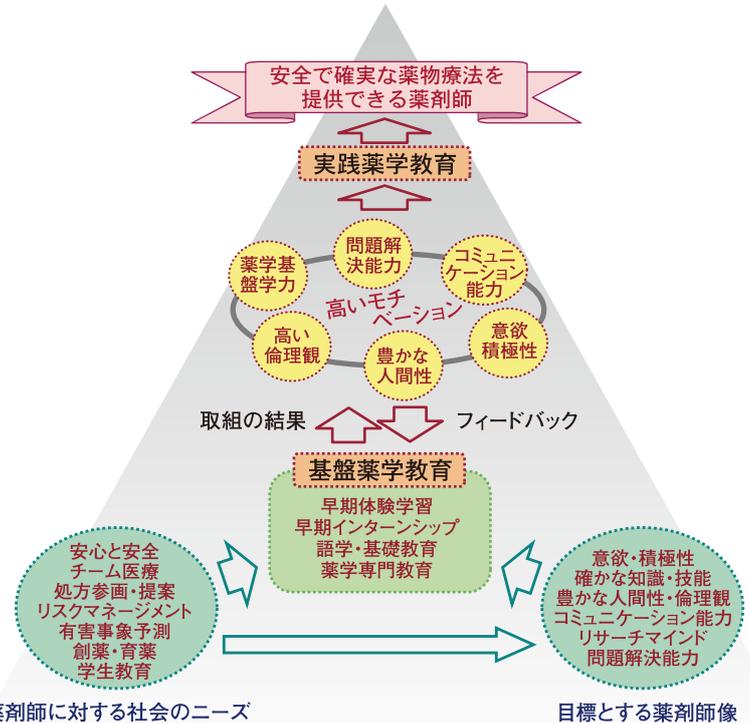
調和のとれた一貫教育  
充実した教育・研究施設  
最先端をゆく大学院



# 附属薬局を活用した臨場感あふれる実践教育

本プログラムは、豊かな人間性と倫理観、確かな知識と技能、問題解決能力を併せ持つ薬剤師を養成することを目的としています。全国で初めて開設された大学附属薬局を利用して臨場感あふれる薬学教育を実践するもので、生きた題材を教育に提供して「安全で確実な薬物療法を提供する」という社会的要請に適う薬剤師養成を実践しています。

この取り組みは、「附属薬局を活用した臨場感あふれる実践教育－人間性豊かな安全で確実な薬物療法を提供できる実践型薬剤師の養成－」として、文部科学省・平成18年度「地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成プログラム（医療人GP）」に採択され、6年制学科の実践的薬剤師教育として高く評価されています。



■岐阜薬科大学附属薬局

## 入学に関する受入方針（アドミッション・ポリシー）

### 岐阜薬科大学の理念

薬と健康についての高度な研究に支えられた教育により、有為な薬学専門職業人を育成し、それらを通して社会に貢献する。

### 入学者選抜の基本方針

岐阜薬科大学は、複数の受験機会と多様な入試を提供しています。本学の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般選抜の他に学校推薦型選抜を実施しています。本学の入試では、大学入学共通テスト、個別学力検査、調査書及び面接などを採用して志願者の能力や資質を総合的に評価します。

### 学科の教育研究上の目的

薬学科は、薬学分野における最新の学理と技術を教授研究し、臨床に係る高度な知識・技能、実践的能力及び研究能力並びに豊かな人間性と高い倫理観を身に付けた優れた薬剤師として求められる資質を有する医療従事者、研究者及び技術者を育成することを目的とする。

### 岐阜薬科大学が求める学生像

本学は、その理念に共感する次のような学生を求めています。

- 医療機関、製薬企業、研究・教育機関、行政機関などにおいて、薬のスペシャリストとして活躍する薬剤師・薬学研究者へと成長する意欲と自主性をもつ学生
- 健全な倫理観と基礎的なコミュニケーション能力を持つ学生
- 薬学を学ぶ基礎としての高等学校教育における学力を十分に身につけた学生



## 医療チームの一員として医療に貢献する 新しい医薬品の開発から医療に貢献する 薬剤師になりませんか！

### 教育課程の編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

薬学部の理念と教育目標に基づいた薬学専門職業人を育成するために、基礎教育科目と専門教育科目を有機的に関連付け、1年次から卒業年次まで効率的で一貫した教育課程を編成し、人と環境にやさしい薬学教育を実施する。

薬剤師として必要な人と環境に配慮できる豊かな人間性と確固たる倫理観・使命感を培う「ヒューマニズム教育」と「エコロジー教育」を意識した基礎および専門教育課程を編成する。

■**基礎教育** 薬学の基礎となる自然科学系科目、幅広い教養と豊かな人間性を涵養する多様な人文社会科学系科目、国際化と情報化社会に対応できる英語力を重視した外国語科目からなる基礎教育課程を編成する。

■**専門教育** 薬学教育モデル・コアカリキュラムを基本とし、薬学一般、有機化学系、物理化学系、生物化学系、衛生薬学系、医療基礎薬学系、医療薬学系、創薬学系に区分した薬学専門科目を低学年から高学年にかけて系統的に配し、継続性のある専門教育課程を編成する。

■**実習** 科学的根拠に基づいて問題を発見し解決する能力、医療現場での実務および薬学研究に必要な技能を体得するための実習科目と研究力を身につける特別実習を重視した教育課程を編成する。さらに、その実施過程において、自己研鑽に努め、人材育成能力、薬剤師・薬学研究者として必要なコミュニケーション能力が身につくような教育課程を編成する。

■**医療薬学コース** 薬剤師として医療現場に必要な基礎知識・技能はもとより、実践力と研究力が身につくような教育課程を編成する。

■**創薬薬学コース** 研究者・技術者・教育者として必要な基礎知識・技能はもとより、医療に関する教養、研究現場に必要な実践力と研究力が身につくような教育課程を編成する。

### 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

薬学科に所定の期間在籍し、その理念と教育目標に基づいた教育課程を履修して、所定の単位を修得し、かつ下記の能力を身につけたと認められる者に学士(薬学)の学位を授与する

■薬学部の理念である「人と環境にやさしい薬学(グリーンファーマシー)」を理解し、実践できる。

■薬剤師としての心構え、広い教養と豊かな人間性、コミュニケーション能力、国際化と情報化社会に対応できる英語力並びに基礎的な科学力を身につけている。

■薬物療法における知識・技能と実践的能力を修得し、薬剤師として患者・生活者本位の視点に立ち、チーム医療や地域の保健・医療に貢献する能力を身につけている。

■医療薬学コース 問題解決能力をもって、主に医療現場で必要とされる実践力や臨床研究を展開する能力を身につけている。

■創薬薬学コース 問題解決能力をもって、主に創薬科学および生命科学の研究を展開する能力を身につけている。

■生涯にわたり自己研鑽を継続し、医療を担う次世代の人材を育成する意欲と態度を身につけている。

## 花粉症とアレルギー

毎年、春先になると花粉情報をよく目にします。鼻炎や目のかゆみなどの症状が花粉に対するアレルギー反応であることはよく知られており、この花粉症の患者数は今や推定約2000万人とされ、国民病と言われてます。

このアレルギーが、本来、病原微生物などから生体を守る働きをする免疫の異常によることが知られるようになったのは20世紀になってからのことです。1966年、日本人免疫学者、石松公成はアレルギーの原因となる物質が抗体というタンパク質であることを確かめ、これをIgEと名付けました。外部から花粉が侵入すると体内でIgEが作られ、IgEは肥満細胞の表面に結合します。花粉が再び体内に入ってきてIgEと反応すると肥満細胞はヒスタミンなどの化学伝達物質を放出し、それが不愉快な症状を引き起こします。本学では、肥満細胞からの化学伝達物質の放出を抑制する薬物の研究が行われ、世界で初めてトラニラストという内服できる抗アレルギー薬を開発し、さらに、IgE産生抑制作用を持つスプラタストの開発にも成功しました。

花粉症以外にも、喘息、アトピー性皮膚炎、シックハウス症候群などのアレルギー疾患が起きるメカニズムは複雑で不明な点が多いのが現状です。今後の研究の進展とともに、新たな治療法、治療薬の開発が望まれています。

一方、今では一般用医薬品(OTC薬)としても花粉症の薬を手にすることができますが、その効き目、眠気や口の渇きといった副作用の出やすさは人によって様々です。薬剤師には患者さんの訴えをよくきき適切なアドバイスをすることで医療人として活躍することが求められています。



医療現場での実務実習



■薬学科／2回生

■奈良県

■私立天理高等学校出身

井筒 睦子

## Interview

本学に入学して1年が経ち、学校生活にも岐阜での生活にも慣れてきました。2回生となった今、講義や化学系の実習を受けながら部活やアルバイトにと忙しくも充実した毎日を過ごしています。部活動では三田洞キャンパスの1~3回生の方々だけでなく、本部キャンパスの4~6回生の方々とも関わる機会が多くあり、日々たくさんの方のことを学んでいます。

本学では、薬剤師の資格を取ることを前提としていますが、3回生の後期に医療薬学コースと創薬育薬コースの2つのコースのどちらかを選択できるため、自分の進みたい道に特化して学習できる体制がとられています。そのため、実際に薬に関することを学びながらどのような道に進みたいかをじっくり考えることができます。

また、1回生のうちからどのような薬剤師を目指したいかを考えることができる薬学概論や早期体験実習といった講義・実習があります。薬学概論では、将来、薬剤師になったときに起こり得る問題について、グループディスカッションを行い問題解決に取り組むため、同級生との仲を深めながら薬剤師としての役割や責任を考えることができます。さらに、早期体験実習では病院見学や薬局見学では、実際にどのように薬剤師の方が働いているのかを知ることができ、学習への意識が高まりました。

1回生のうちは、一般化学、分析化学、無機化学、物理化学などの科目の他に教養科目もあります。2回生になると専門科目が増え、化学実習が本格的に始まります。高校では習わない範囲の分野を深く学び、友達と協力しながら薬のプロフェッショナルになれるよう、日々勉強に取り組んでいます。

受験生のみなさんは大変な時期にあると思います。私自身、受験期は不安でいっぱいでしたが、楽しく、やりがいのある岐阜薬科大学で学生生活を送ることができ、ここに進学して本当によかったと思っています。不安なことも沢山あると思いますが、全国から集まる仲間との出会いや、その先の楽しみを胸に夢に向かって精一杯頑張ってください。応援しています。

来年の春、みなさんにお会いできることを心よりお待ちしております。

### 医療薬学教育

医療現場に必要な実践力を養う教育

### 実習科目

研究に必要な技術や方法を体得する教育

### 薬学専門教育

薬学教育モデル・コアカリキュラムを基本とした継続性のある専門教育

### 英語教育

国際化と情報化社会に対応した英語教育

### 基礎教育

幅広い教養と豊かな人間性を涵養する基礎教育

	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
医療薬学教育		薬理学I 生理学 解剖学	薬物治療学I 医薬品情報学 薬理学II, III 製剤学I, II 病態生化学I, II 化学療法学 医薬品化学 薬物動態学 生物薬剤学	薬物治療学II 臨床薬剤学 治験薬学 医療コミュニケーション 調剤学 医薬品安全性学 医療心理学		基礎臨床薬学
実習科目	薬学基礎実習 早期体験実習 情報処理基礎実習 健康・スポーツ実習	物理化学系実習 分析化学実習 有機化学実習 生物化学実習 生薬学実習	衛生薬学実習 感染制御学実習 薬効解析学実習	総合臨床薬学	病院 薬局 実習	
薬学専門教育	有機化学I 物理化学I 生化学I 分析化学 薬品分析化学 薬用植物学 生薬学	有機化学II 物理化学II 生化学II 機器分析化学 分子生物学 細胞生物学 微生物学 免疫学 公衆衛生学 放射化学 有機構造解析学 有機化学演習 物理化学系演習 生物化学実習	総合創薬育薬演習 薬品合成化学 創薬学I 危険物化学 応用天然物化学 高分子化学 衛生化学I, II 有機合成化学 薬用資源学 生体情報学 先端医療学 医療制度論 実践社会薬学	ドラッグデザイン演習 創薬学II 医薬品開発学		
英語教育	実用英語I, II 英語会話I, II	薬学英語I 実用英語III 英語会話III	薬学英語II, III			
基礎教育	一般化学 生物学 無機化学 物理学 数学 統計学 法学 コミュニケーション論 ドイツ語I, II 中国語I, II 地球環境論 健康・スポーツ科学 心理学 経済学 文学 情報処理学 コンソーシアム科目	生命倫理学  ドイツ語III 中国語III 哲学 社会学 コンソーシアム科目				
			総合医療薬学演習 代替医療論 化粧品健康学	実践医療薬剤学 医療経済論	アドバンスト 実践臨床薬学I, II, III 地域医療実践薬学	
			薬理学実習 製剤学実習 薬物動態学実習	総合臨床薬学		
						特別実習(卒業研究)
						創薬育薬コース
						総合薬学演習

「専門教育科目」は、「学科共通科目」と「コース科目」に分けられます。

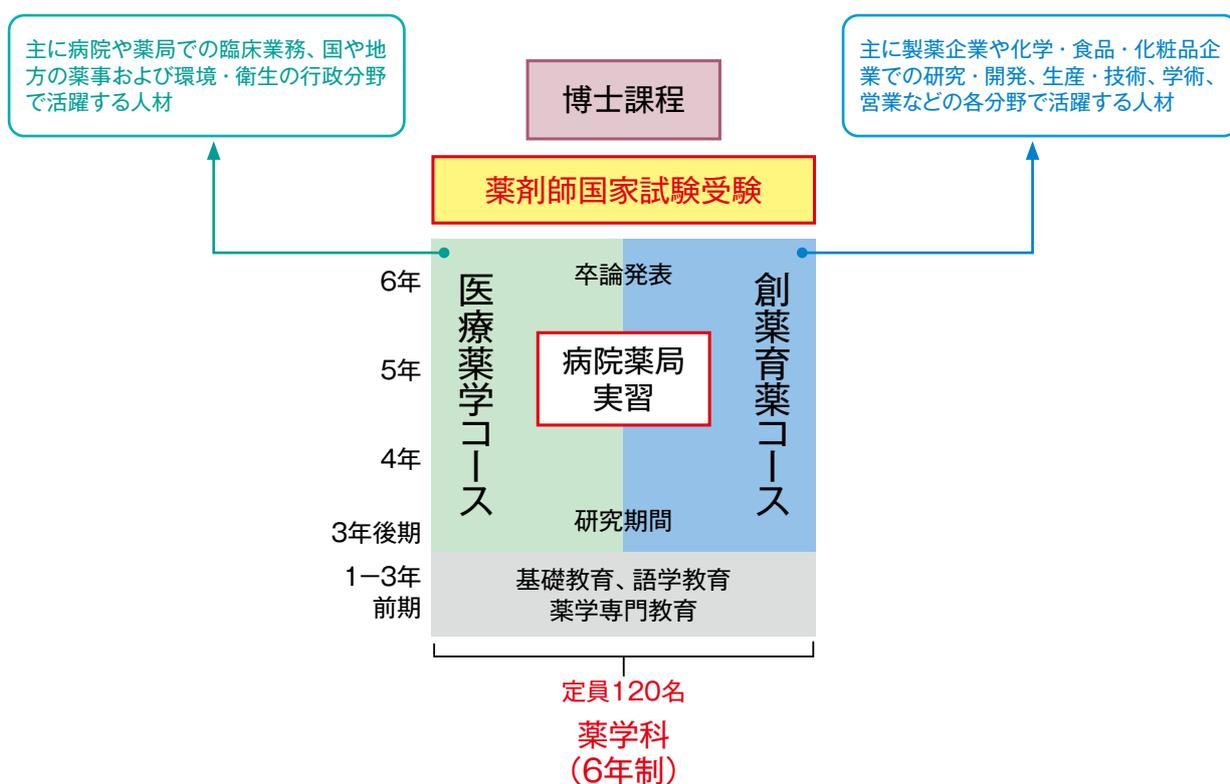
「コース科目」は、本学独自の特徴ある科目であり、本学科卒業後に薬剤師免許を取得の上、主に病院や薬局での臨床業務（高度医療、地域医療等）、国や地方の薬事および衛生行政の各分野で活躍できる人材を養成する「医療薬学コース」と、主に製薬企業や化学・食品・化粧品企業の研究者、生産・技術、学術、営業の各分野で活躍できる人材を養成する「創薬育薬コース」を編成します。3年次後期にいずれかのコース履修を選択することとなります。

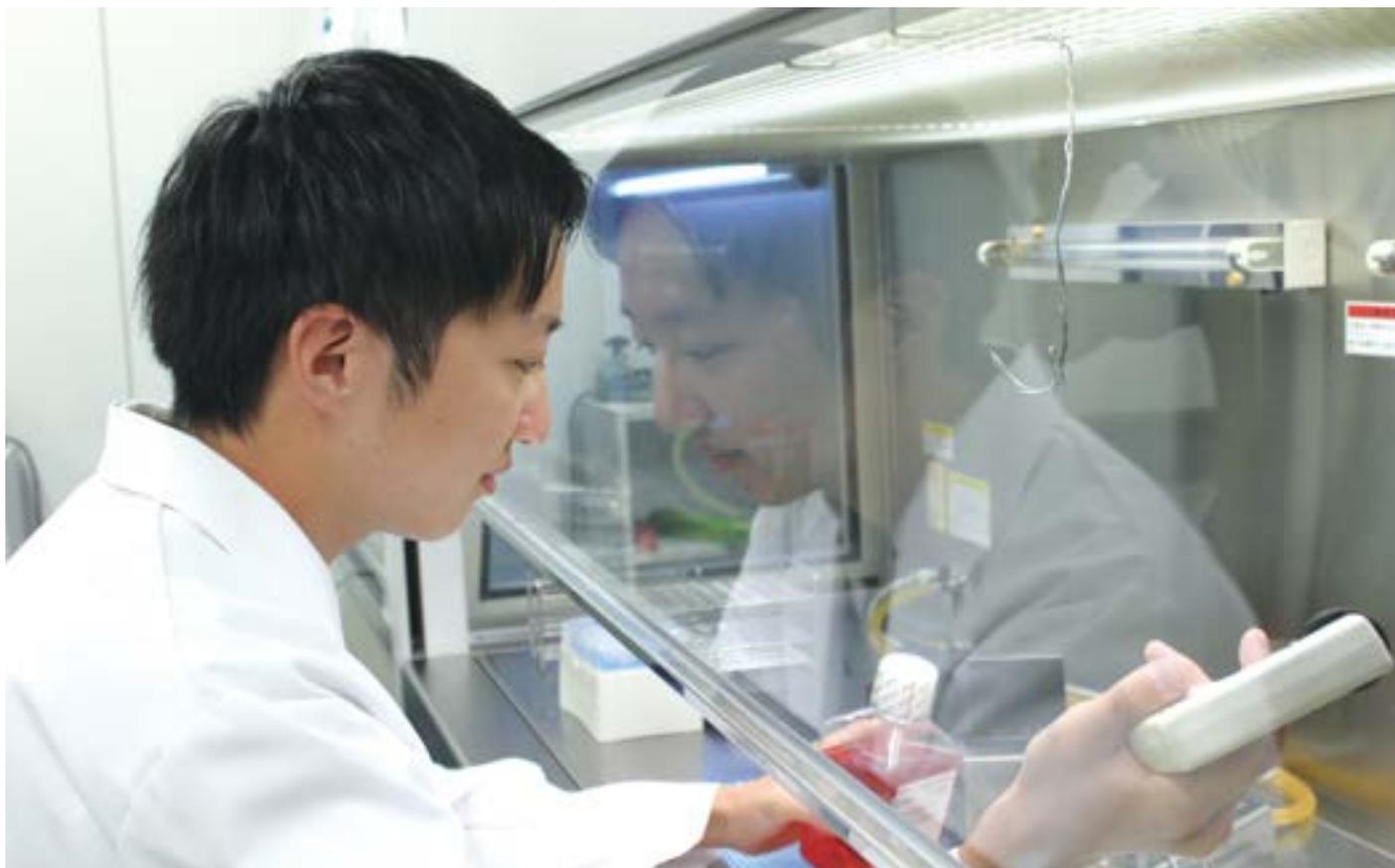
### ●医療薬学コース

「医療薬学コース」では、薬学の基礎から最先端の高度な薬学専門知識や技術、臨床現場に必要な技術や態度に至るまで幅広く修得し、さらに、医療人としての豊かな人間性、高い倫理観を醸成することにより、医療分野で専門的職業人として患者ベネフィットの向上に向け問題解決できる信頼される薬剤師の育成を目指します。また、行政や製薬関連分野で薬剤師の資格を必要とする薬事、生活・環境分野で活躍できる人材の育成も目指します。本コースの修了生は、薬剤師として主に病院や薬局での臨床業務（高度医療、地域医療等）、国や地方の薬事および衛生行政の各分野で活躍することが期待されます。また、大学院博士課程に進学し、より高度な知識と技能、自立して研究を進める能力を身に付け、指導的な立場で活躍できる力を養成します。

### ●創薬育薬コース

「創薬育薬コース」では、製薬企業における医薬品開発・育薬研究者、グローバル化に向けた臨床開発・企画戦略に貢献できる人材、レギュラトリーサイエンスの専門家、行政や大学での研究者など正に研究の場でノウハウを発揮できる人材の育成を目指します。病院・薬局実習の経験を活かし、患者本位、患者ベネフィットの向上という高い使命感と倫理観を兼ね備えた次世代の自立的研究者を輩出します。本コースの修了生は、主に製薬企業や化学・食品・化粧品企業の研究者、生産・技術、学術、営業の各分野で活躍することが期待されます。また、大学院博士課程に進学し、より高度な研究開発能力を修得し、製薬企業等の研究所で新薬の創製と開発に携わることができる力を養成します。





岐阜薬科大学では、アレルギー・がん・糖尿病などの生活習慣病、精神神経疾患・感染症などの疾患の原因解明や治療法の開発、これら疾患の治療薬を目指した新規医薬品の創薬研究が行われています。

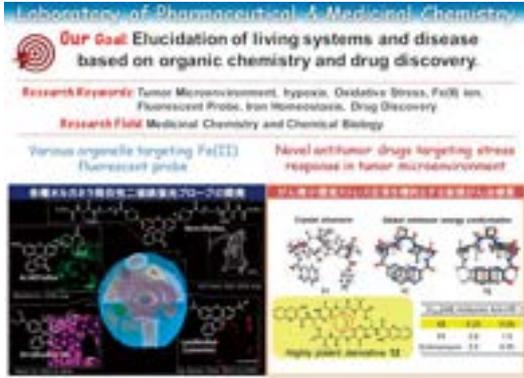
本学の研究室は、薬学科・薬科学科7大講座23研究室、サテライト研究室2研究室、専門教育大講座1研究室、基礎教育大講座4研究室、寄附講座7講座、共同研究講座1講座で構成されています。

創薬化学大講座	薬化学研究室	薬品化学研究室	合成薬品製造学研究室
生体機能解析学大講座	分子生物学研究室	薬効解析学研究室	免疫生物学研究室
	生体情報学研究室		
薬物送達学大講座	薬品物理化学研究室	製剤学研究室	
機能分子学大講座	生薬学研究室	薬理学研究室	薬品分析化学研究室
生命薬学大講座	衛生学研究室	生化学研究室	感染制御学研究室
医療薬剤学大講座	薬物動態学研究室	臨床薬剤学研究室	薬物治療学研究室
実践薬学大講座	薬局薬学研究室	病院薬学研究室	医薬品情報学研究室
	地域医療実践薬学研究室	グローバル・レギュラリー・サイエンス研究室	
サテライト研究室	健康医療薬学研究室	先端医療薬学研究室	
専門教育大講座	薬草園研究室		
基礎教育大講座	英語研究室	科学英語研究室	数学研究室
	健康・スポーツ科学研究室		
寄附講座	化粧品健康学講座	バイオメディカルリサーチ講座	地域医療薬学講座
	在宅チーム医療薬学講座	先進製薬プロセス工学講座	先端医療薬局学講座
	ナノファイバー創剤学講座		
共同研究講座	創薬イノベーション共同研究講座		

# 薬学科・薬科学科研究室

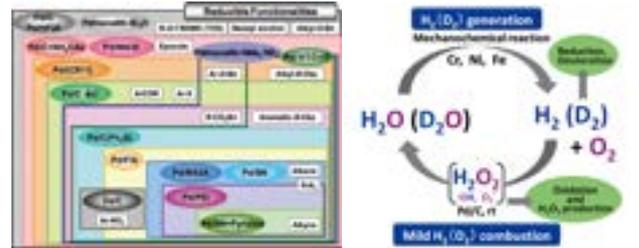
## 薬化学研究室

- ① がん治療薬の開発とがんのケミカルバイオロジー研究
- ② 細胞のストレス応答研究のための化学ツールの開発
- ③ 鉄代謝機構解明のためのケミカルバイオロジー研究



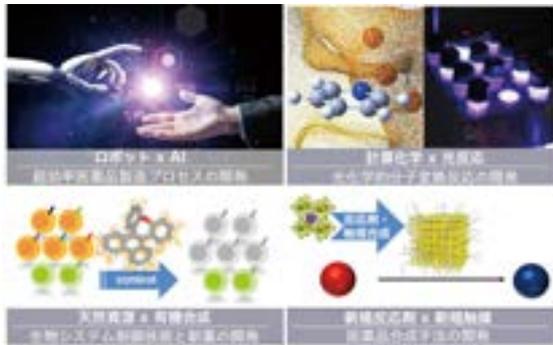
## 薬品化学研究室

- ① 機能性不均一系遷移金属触媒の開発と効率的有機合成反応への適用
- ② カチオン種の新規発生法を基盤とした有機分子構築法の開発と全合成研究への応用
- ③ 次世代エネルギーシステム構築を指向した水素(重水素)キャリアーの開発と有機合成法としての応用



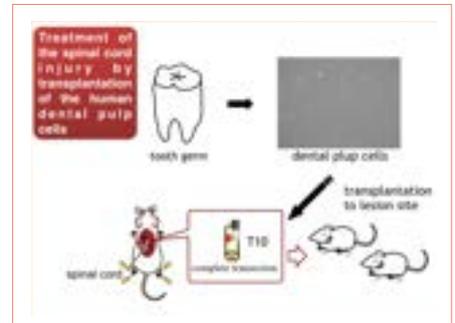
## 合成薬品製造学研究室

- ① ロボット×AI の協働による超効率医薬品合成プロセスの開発研究
- ② 新しい相互作用を利用した光化学的分子変換反応の開発研究
- ③ 天然資源を基盤とした生物システム制御技術と新薬の開発研究
- ④ 医薬品合成に有用な新規反応剤及び触媒の開発研究



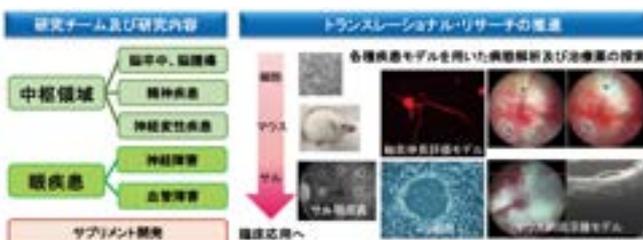
## 分子生物学研究室

- ① 神経発達障害の病態理解をめざした高次脳機能の発達に関する研究
- ② 脊髄損傷の修復治療をめざした研究
- ③ 神経栄養因子に類似のシグナル伝達作用をもつ低分子量物質の開発



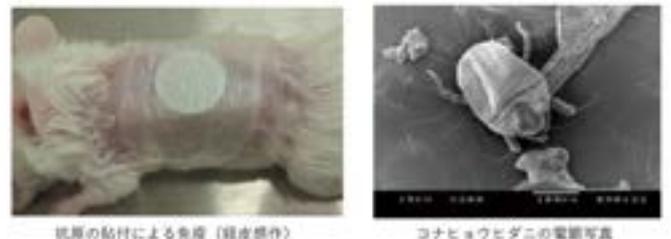
## 薬効解析学研究室

- ① 緑内障、加齢黄斑変性などの眼疾患に関する病態解明及び創薬研究
- ② 脳卒中、脳腫瘍、精神疾患などの中枢性疾患に関する病態解明及び創薬研究
- ③ iPS細胞を用いた病態モデルを基盤にした創薬研究
- ④ 各種サプリメント開発を目標とした応用研究



## 免疫生物学研究室

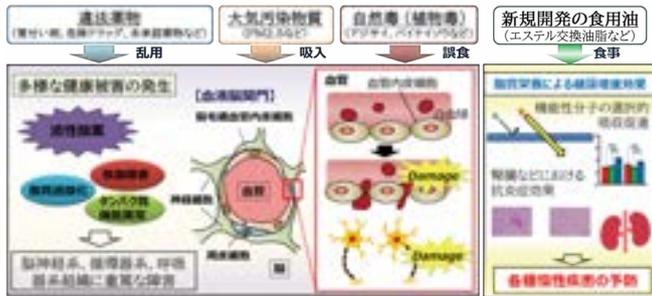
- ① 抗アレルギー活性を有する植物エキスによる機能性食品の開発
- ② 医薬品・化粧品成分あるいは不純物によるアレルギー発症機序の解明
- ③ 食物アレルギーの根治を目指すペプチド療法の開発研究
- ④ 経皮感作によるアレルギー発症機序の解明ー皮膚から始まるアレルギーー



## 薬学科・薬科学科研究室

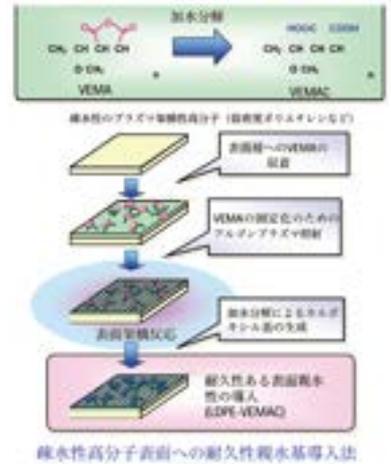
### 生体情報学研究室

- ① 違法薬物や大気汚染物質による脳神経損傷機序の解明
- ② 食中毒の病因物質の同定と発症機序に関する研究
- ③ 抗がん耐性化関連タンパク質を標的とする新規補助化学療法剤の探索
- ④ 脂質栄養による生活習慣病予防効果の検討



### 薬品物理化学研究室

- ① プラズマを利用した高分子基材表面へのリン脂質自己組織化膜の構築とその応用
- ② 固体プラズマ化学の基礎と高分子の自己組織化を利用したDDS 開発
- ③ プラズマ技術を基盤とする機能性バイオマテリアル表面の創成



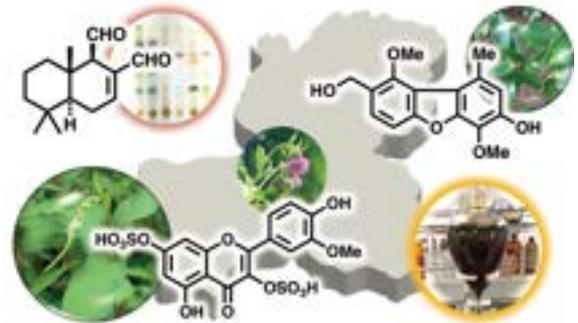
### 製剤学研究室

- ① 薬物のバイオアベイラビリティと服用性改善を目的とした粒子・製剤設計
- ② ナノテクノロジーを利用した低侵襲ナノDDS製剤の研究
- ③ 統合型医薬品連続生産システムを目指した製造プロセス開発
- ④ 個別化製剤の実現を目指した研究



### 生薬学研究室

- ① 有用植物の探索と化学系統分類に関する研究
- ② 植物二次代謝産物の分離と構造解析に関する研究



### 薬理学研究室

- ① がん幹細胞を標的とした革新的抗がん剤創製に関する研究
- ② 間葉系幹細胞を標的とした難治性骨系統疾患に対する根本治療薬創製に関する研究
- ③ 骨組織を基軸とした臓器連関による全身恒常性維持機構の解明研究



### 薬品分析化学研究室

- ① 高性能キャピラリー電気泳動システムの開発と生命科学 research への応用
- ② 高性能分離分析法結合質量分析計測システムの生命科学、臨床化学 research への応用
- ③ ジスルフィド基の隣接基効果を利用した低酸化電位を有する機能性分子構築に関する研究



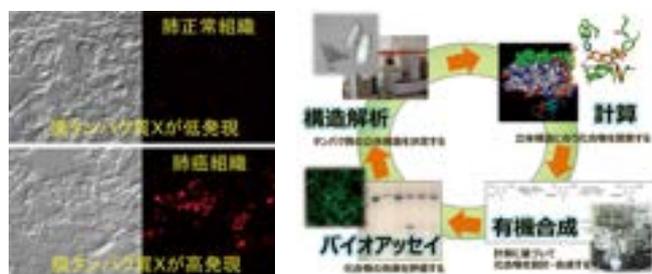
## 衛生学研究室

- ① 化学物質の次世代影響に関する研究
- ② in vivoイメージング技術を用いた新規毒性評価手法の開発
- ③ 生体の環境応答と疾患との関わりに関する研究
- ④ 化学物質によるアレルギー発症機構の解明とアレルギー誘導性試験の構築



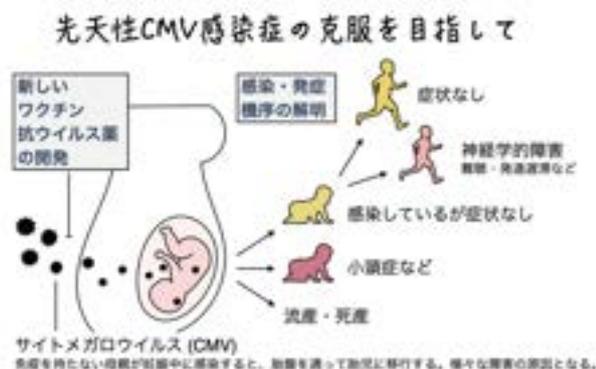
## 生化学研究室

- ① 癌などの加齢性疾患における細胞間接着分子の異常発現と治療薬の開発
- ② 恒常性維持機構の異常を標的とした疾患治療薬の開発
- ③ 細胞間接着因子を標的とした表皮バリア制御法の開発



## 感染制御学研究室

- ① 先天性感染症の感染・発症機序の解析とワクチン開発
- ② 新規抗ウイルス化合物の探索と作用機序の解明
- ③ 粘膜免疫の活性化機序の解析とその応用



■ 薬学科 / 4回生

■ 愛知県

■ 学校法人名古屋学院 名古屋高等学校出身

大塚 舜平

## Interview

岐阜薬科大学に入学して4年目となり、大学生活の折り返しを迎えるとともに三田洞キャンパスでの講義、実習を終え本部キャンパスでの生活が始まりました。

三田洞キャンパスでは、1回生の早い時期から病院見学や薬局見学、PBL (problem-based learning) というグループでの問題解決型学習を行うことで、薬剤師としてどのように社会貢献できるかをより具体的にイメージすることができます。講義では基礎科目に始まり、2回生、3回生に進むにつれ専門科目が増えていきます。より深い知識を学ぶことは大変で課題や試験に追われる日々となりますが、それと同時に自分の興味があったり自分が得意な学問分野がなにかが明確になると思います。私自身2回生の有機化学演習という講義を受け化学を学ぶことが楽しい、もっと学習して将来の仕事にしたいと思うことができました。3回生後期には所属する研究室が決まると同時に、医療薬学コースと創薬育薬コースに別れます。学部生全員が薬剤師免許を得ることを前提としていますが、薬剤師として臨床現場での活躍を目指すのか、製薬企業に入社し研究開発を目指すのかを選びそのための講義を受けることができます。

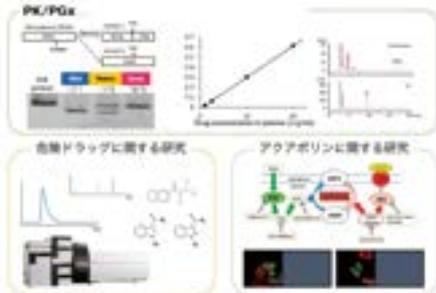
薬学部だけの単科大学であるため学年当たりの人数は少なく先輩、同級生、後輩と多くの関わりをもつことができます。部活も数多く存在し、薬学生として忙しい生活を送りながらどの部活も工夫を凝らして活動をしています。また2つ3つの部活に所属する人も珍しくありません。ここでできた繋がりは、大学生としてともに問題、課題を考え、助け合うだけでなく、卒業してからも続いていきます。4回生となって研究室での活動がメインとなってからはまた新しい人間関係が生まれます。

岐阜薬科大学は薬剤師として社会に求められる人材の育成に力を入れています。より高い志を持つ人にはそのための環境が与えられると思います。勿論そうでない何をしたのかを決まっていないう人にとっても、全国から集まった同級生との交流や講義を通じて「何をしたいか」を発見することができます。少しでも興味のある方はぜひ岐阜薬科大学にいらしてください。

## 薬学科・薬科学研究室

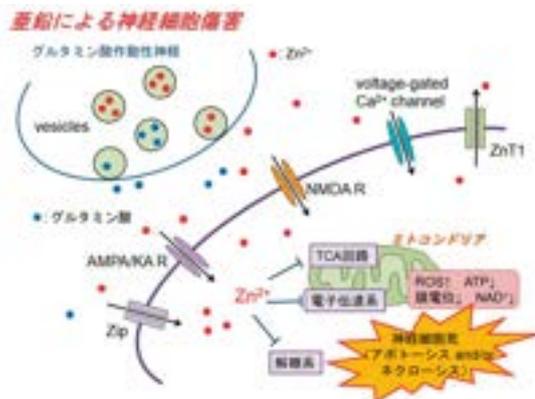
### 薬物動態学研究室

- ① 各種薬物測定系の確立とそれを活用した薬剤師による薬物治療への能動的な取り組みを促進するための基礎および臨床の統合的研究
- ② 危険ドラッグに関する研究
- ③ 水の輸送に関連する膜蛋白アクアポリン(AQP)の Trafficking に関する研究



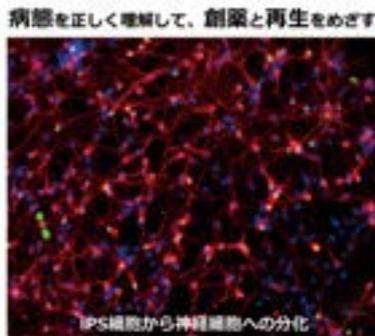
### 臨床薬理学研究室

- ① 生体微量元素の動態異常と疾患に関する研究
- ② 抗酸化酵素の発現調節機構に関する研究
- ③ 細胞外マトリクスの破綻とがん細胞転移との関連性



### 薬物治療学研究室

- ① アルツハイマー病, パーキンソン病, 筋萎縮性側索硬化症 (ALS)などの神経変性疾患に共通した発症機序の解明と再生・創薬研究
- ② 特発性大脳基底核石灰化症 (IBGC)の病態解明と治療薬開発
- ③ 胎生期から生涯における環境要因によるエピジェネティクス攪乱の神経機能に及ぼす影響の解明



### 薬局薬学研究室

- ① 薬局薬剤師の業務に関連した課題の解決に関する研究
- ② 薬局での医薬品適正使用推進に資する医薬品情報の創生・育薬研究
- ③ 薬局や薬局薬剤師に関する社会的な課題を検討する研究



### 病院薬学研究室

- ① 医療コミュニケーション分野の教材および測定スキル尺度の開発に関する研究
- ② セルフメディケーション推進のための包括的くすり教育プログラムの構築に関する研究
- ③ 医薬品の適正使用を目的とした臨床における薬効、副作用および薬剤師業務の評価に関する研究



### 医薬品情報学研究室

- ① レギュラトリーサイエンスおよびトランスレーショナルリサーチに関する研究
- ② LC-MS を利用した生体マトリックス中薬物濃度の高感度分析法およびその臨床応用
- ③ リピドミクスによるスフィンゴリン脂質代謝物の新規疾患バイオマーカーの探索と臨床評価



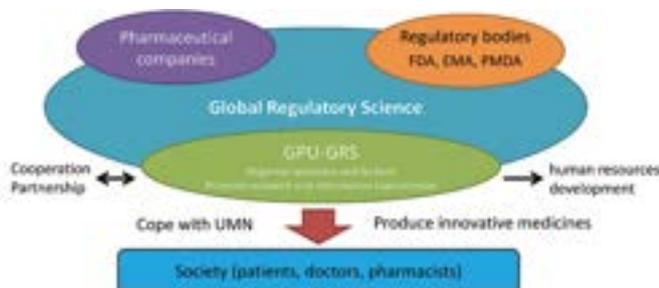
## 地域医療実践薬学研究室

- ① 在宅医療で期待される薬剤師の職能に関する研究
- ② 薬剤師の専門性を生かした薬物療法の適正化に関する研究
- ③ 個別化薬物療法を指向した遺伝子多型と薬物動態解析に基づく臨床薬理研究



## グローバル・レギュラトリー・サイエンス研究室 Global Regulatory Science (GRS)

- ① 規制当局の医薬品製造販売許認可の判断に関する分析
- ② 規制当局の論理構造に関する分析
- ③ 製薬企業における臨床開発や薬事戦略の分析



## 専門教育大講座

### 薬草園研究室

- ① 生薬データベースの構築に関する研究
- ② いわゆる健康食品や医薬品に配合される植物の顕微鏡鑑定研究
- ③ 薬用植物栽培および生薬調製加工に関する研究



薬用植物の栽培研究



■ 薬学科／6回生

■ 鳥取県

■ 鳥取県立鳥取東高等学校出身

福田 智美

## Interview

本学に入学してから早くも6年目を迎え、現在は研究室での研究活動を中心に、多くの仲間と切磋琢磨しながら、充実した日々を送っています。

入学当初は、岐阜という実家から遠い地での一人暮らしに不安がありました。しかし、北海道から沖縄まで様々な地域から入学し一人暮らしをしている学生が多く、お互いにサポートしながら新生活に慣れていくことができました。また、大学での授業は学年が上がるにつれて専門的な科目が増え、難しく感じる人も多くいますが、友人たちと教え合うことで自らの理解も深め、定期試験を乗り越えることができます。

4回生からはキャンパスが変わり、研究活動を行いながら、授業に出席し専門知識を深めていきます。さらに5回生の半年間は実務実習を行い、実際の薬剤師の先生方から手技や知識を学ぶことができます。また、患者さんと接する機会だけでなく、医師や看護師などの他の医療従事者の方との話し合いに参加させていただく機会もあり、とても充実した実習が行うことができます。

本学は学業のみならず、部活動にも全力で取り組む学生が多いと感じます。多くの部では3回生の夏に引退しますが、引退後もOB・OGとして部活に参加する学生は多いです。私は、バレーボール部とサッカー部を兼部しており、現役中の授業後はほぼ毎日のようにグラウンドや体育館で過ごし、日々の練習や大会で仲間たちとのかけがえのない思い出を残すことができました。引退後も部活に顔を出し、後輩に指導したり練習相手になったりしています。

本学は各学年120人ほどと小規模であるため、同期だけでなく、先輩や後輩とのつながりが強いと感じます。卒業された先輩方と連絡を取り、岐阜に来られるタイミングで一緒にご飯を食べに行ったり、近くで就職された先輩方と遊びに行ったりもします。その際に就職について相談に乗ってもらうこともあります。卒業生の方々は臨床現場、製薬企業、行政機関など幅広い分野で活躍されているため、就職活動についてそれぞれの業種にあった的確なアドバイスをもらうことができます。

このように、岐阜薬科大学では、一生ものの知識と思い出と人間関係を得ることができます。薬学部を目指している皆さんにも岐阜薬科大学で様々な経験をし、卒業するときには、入学してよかったと思えるような充実した学生生活を送っていただきたいと思います。



大学院では、高度な創薬研究と創薬研究者・技術者養成を目指した薬科学専攻（修業年限2年の博士前期課程（修士課程）及び修業年限3年の博士後期課程）並びに、高度な臨床薬学研究と専門薬剤師養成を目指した薬学専攻（修業年限4年の博士課程）を設置しています。いずれの専攻分野も指導教員と連携して学術研究を行い、より高度で未知な分野での研究を行うことで、新しい知識と技術ならびに医薬品の開発や医療現場に寄与する学識を身に付けることができます。これらの勉学・研究環境は、学識・経験ともに豊かな指導教員と最新の研究機器を完備した各研究室ならびに附属研究施設により力強く支えられています。





■ 大学院／博士課程3年

■ 静岡県

■ 静岡県立静岡高等学校出身

山本 勝也

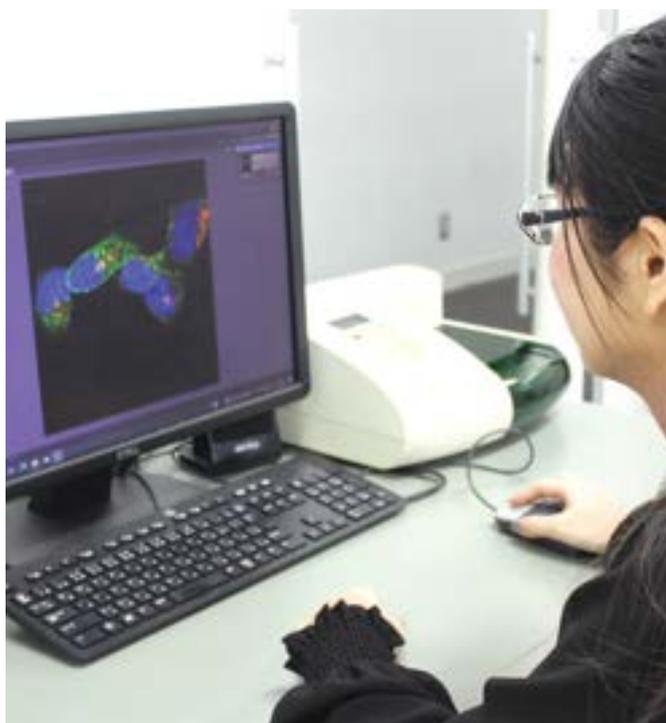
## Interview

私は本学の薬学科を卒業後、そのまま大学院博士課程に進学しました。私が所属する衛生学研究室では、ダイオキシン類や、カドミウムなどの重金属が人体に悪影響を与えるメカニズムの解明に向けた研究や、化学物質のリスクを正確に評価するための新規手法の開発に取り組んでいます。薬学部での研究というと、化学合成や薬効評価によって病気の治療薬を開発するための研究や、実際の患者さんに寄り添った病院や薬局などの現場での臨床研究をイメージされるかもしれませんが、しかしながら、化学物質の負の影響を正しく評価することや、感染症や生活習慣病などの疾病を予防することに主眼を置いた、衛生薬学という分野も薬学の重要な領域の一つです。私は、学部時代の講義で衛生薬学という分野に興味を持ち、衛生学研究室で研究活動を行ううちに、「世界中の人の健康を守れるような仕事をしたい。そしてその実現のために、より専門的な知識や技術を身につけたい。」と思い、博士課程への進学を決めました。研究活動は大変なことも多いですが、新しい発見をしたときの喜びと自分自身の目標が日々の原動力になっています。

薬学部は、基礎研究と臨床の両方を学び、経験することができる学部であり、博士課程はそれをさらに深めることができる場所です。基礎と臨床の両方を極めた、「研究ができる現場の薬剤師」あるいは「薬剤師免許をもつ研究者」は医療機関や製薬企業のみならず、大学や行政など、幅広い場所での活躍が期待されています。岐阜薬科大学での6年間の学びを通して、自分自身の研究力や薬学の専門性をさらに磨きたいと思った際には、ぜひ大学院への進学も選択肢に入れていただけたら嬉しいです。

岐阜薬科大学は単科大学であるがゆえに、人が少ない反面、同級生のみならず、先輩・後輩、先生方やOB・OGの方と関わる機会も非常に多く、人と人とのつながりが濃密であることが大きな特徴です。大学生生活や研究活動での悩みだけでなく、進路や人生についての相談にも乗ってくれる面倒見がよくて頼れる先輩、先生方とたくさん知り合えることは、岐阜薬科大学の学生である特権の一つであると思います。

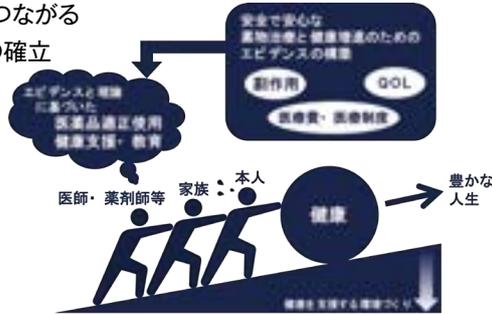
本学を目指される皆さんが、充実した大学生活を送られることを心より祈念しております。



## ■ サテライト研究室 ■

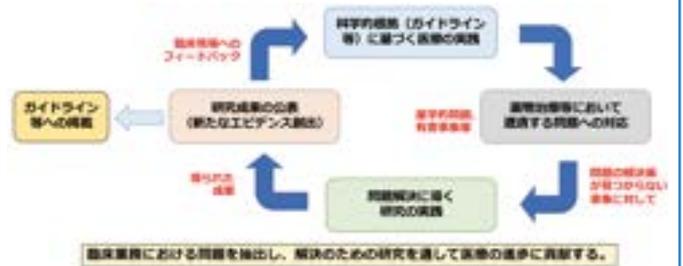
### 健康医療薬学研究室

- ① 医薬品の副作用発現因子および生活の質(QOL)に対する影響に関する臨床研究
- ② 医薬品適正使用のための医療費・医療制度に関する臨床研究
- ③ 医薬品適正使用や健康増進への行動変容につながる支援・教育の確立



### 先端医療薬学研究室

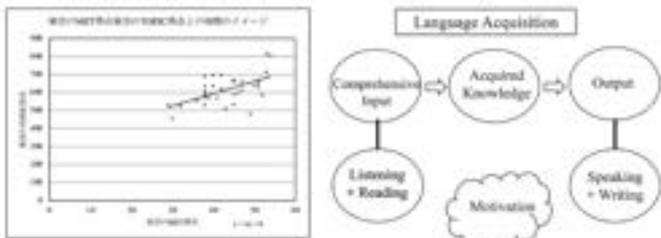
- ① 薬物治療の有効性及び安全性の向上への取り組みに関する研究
- ② がん治療(化学療法や放射線療法時を中心とした)において発現する副作用の対策に関する研究
- ③ エビデンスー診療ギャップとその解消に関する研究



## ■ 基礎教育大講座 ■

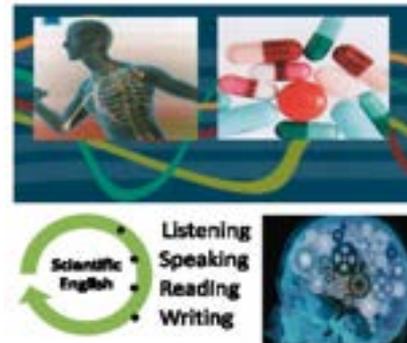
### 英語研究室

- ① 第二言語習得論と動機付けについての研究
- ② 早期英語教育における教授法の分析
- ③ 理系学生を対象とした英語テスト及びドリルの開発



### 科学英語研究室

- ① 薬学科学専門用語のリスニングに関与するメカニズムを探索
- ② リスニングに関するアンケート分析する
- ③ タスクトレーニングによるスピーキングとリスニング能力向上



### 数学研究室

- ① 複素代数幾何的手法を用いた、複素力学系及びその関連分野の研究
- ② 多項式写像の族と、各写像の固定点における multiplier たちとの関係について
- ③ 薬学部における数学教育について

$$\begin{aligned}
 e_1(\lambda) &= \prod_{j \in I} e_{(j)}(\lambda_j) = \prod_{u=1}^l e_{(I_u)}(\lambda_{I_u}) \\
 &= \prod_{u=1}^l \left( \sum_{I'_u \in \mathcal{P}(I_u)} \left[ \{-(\#I_u - 1)\}^{\#I'_u - 1} \cdot \prod_{I''_u \in I'_u} (\#I''_u - 1)! \right] \right) \\
 &= \sum_{I'_1 \in \mathcal{P}(I_1)} \cdots \sum_{I'_l \in \mathcal{P}(I_l)} \prod_{u=1}^l \left[ \{-(\#I_u - 1)\}^{\#I'_u - 1} \cdot \prod_{I''_u \in I'_u} (\#I''_u - 1)! \right] \\
 &= \sum_{I' \in \mathcal{P}(\lambda)} \left[ \left( \prod_{I' \in I'} (\#I' - 1)! \right) \cdot \left( \prod_{u=1}^l \{-(\#I_u - 1)\}^{\chi_{I_u}(I')} \right) \right]
 \end{aligned}$$

### 健康・スポーツ科学研究室

- ① 地域のスポーツ振興に関する研究
- ② 近代剣道における剣道の技法に関する歴史的研究
- ③ 剣道の初心者指導法について



## 寄附講座

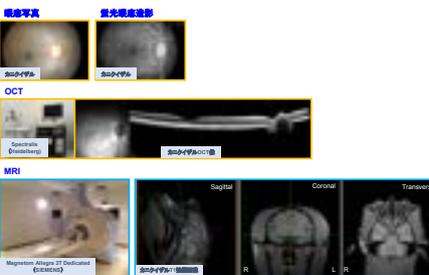
### 化粧品健康学講座

- ① 皮膚の健康や肌の美しさに影響する内因性メディエーターを探索する
- ② 慢性炎症と皮膚の老化の関係を in vitro 細胞培養系で明らかにする
- ③ 脱色素誘導化合物の色素細胞特異的な細胞障害メカニズムを解明する



### バイオメディカルリサーチ講座

- ① 霊長類を主体とした動物実験モデルの確立
- ② 確立した動物実験モデルを用いて新薬開発の研究  
→病態解析&新規化合物の薬効評価



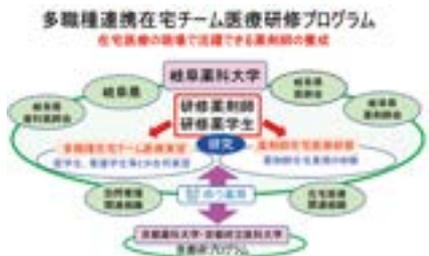
### 地域医療薬学講座

- ① 移動薬局車両モバイルファーマシーを活用した災害医療支援に関する実践的研究
- ② 地域の医療機関と連携した患者支援のための基礎・臨床統合型の多施設共同研究
- ③ 医療・介護・福祉の地域連携による暮らしサポートシステムの構築とその評価に関する研究



### 在宅チーム医療薬学講座

- ① 在宅医療での多職種連携チーム医療の推進に関する研究
- ② 在宅医療で活躍できる薬剤師養成教育プログラムの構築に関する研究



### 先進製薬プロセス工学講座

- ① 固形剤連続生産の工学的研究
- ② 連続プロセス構築のための医薬品および添加剤の粒子設計
- ③ 口腔内崩壊錠、フィルム製剤等の新規固形剤に関する研究



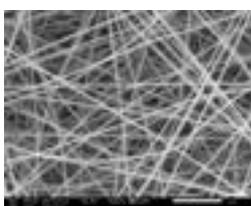
### 先端医療薬局学講座

- ① 薬局を基盤とした専門性の高い薬物治療実践に関する研究
- ② 薬局のDX化の実現とその評価に関する研究
- ③ 薬局薬剤師に対する研修プログラムの提供とその評価に関する研究



### ナノファイバー創剤学講座

- ① ナノファイバー基剤の探索と開発
- ② 難水溶性薬物の溶解性改善を目指したナノファイバー固体分散体の開発
- ③ バイオ医薬品・核酸医薬品など新しいモダリティに対する製剤化応用
- ④ ナノファイバーを活用する経粘膜など低侵襲DDS製剤の開発



薬物含有PVAナノファイバーの電顕画像

## 共同研究講座

### 創薬イノベーション共同研究講座

- ① 革新的な新薬を創出するための創薬研究の推進
- ② 研究の智慧を活かす知的財産の創出および戦略の策定と実践
- ③ 新薬の創出と開発推進構想の具現化および有為な人材の育成





## 岐阜薬科大学附属薬局

平成10年9月、全国に先駆けて薬科大学(薬学部)附属薬局を開設し、臨場感あふれる薬剤師養成実務実習や研究に貢献してきました。平成16年6月に現在の地に移転し、薬学教育6年制での薬局実務実習に対応できるような実務研修用の教育設備、最新の調剤設備と患者さんにやさしいバリアフリー環境を備えた附属薬局を開設しました。



## 薬草園

中国の姉妹校からの寄贈を含めて117科、700種以上の薬用植物が栽培され、毎年5ヶ月間にわたり市民に一般公開されています。

所在地: 岐阜市椿洞東辻ケ内935

Webサイト

<https://www.gifu-pu.ac.jp/yakusou/>

## F A C I L I T I E S



## 岐阜薬科大学附属図書館

岐阜薬科大学附属図書館は、蔵書数: 図書=約4万冊、製本雑誌=約3万冊の特に薬学系資料が充実した図書館で、学習および教育・研究支援のため、図書や雑誌などの資料の整備に努めています。また、従来の印刷物だけでなく、オンラインジャーナルやデータベースの整備にも努めており、学生・院生をはじめとする学内利用者は、オンラインジャーナルやデータベース(SciFinder)を利用できます。



## 子の原川島記念演習園

乗鞍岳の麓にある子の原高原の33,912㎡の敷地に研究開発センターがあり、寒冷地系薬用植物(ダイオウ、エゾウコギなど)の栽培、育種および植物分類などの教育研究実習に利用されています。

私たちの大学が、世界の一員として国際社会に貢献していくためには、学術研究面において世界水準での交流が不可欠です。本学では、海外の大学、研究機関への教員の派遣、世界各国からの教授、研究者の受け入れ等、国際交流が盛んです。

また、学生レベルでの国際交流にも力を入れており、中国薬科大学および浙江大学との学生相互交流や本学卒業生の村山 元氏のご寄付による村山記念国際交流奨学金により米国フロリダ大学への学生派遣を行っています。



■中国薬科大学 訪問(令和元年9月)



■フロリダ大学薬学部 訪問(令和元年9月)



■浙江大学薬学院 訪問(令和元年9月)

交流大学	国名	開始時期
中国薬科大学	中国(南京)	1982年
浙江大学薬学院	中国(杭州)	1984年
シンシナティ大学薬学部	アメリカ合衆国(シンシナティ)	1991年
フィレンツェ大学薬学部	イタリア(フィレンツェ)	1993年
フロリダ大学薬学部	アメリカ合衆国(ゲインズビル)	1998年
瀋陽薬科大学	中国(瀋陽)	1999年
サラマンカ大学	スペイン(サラマンカ)	1999年
カンピーナス大学	ブラジル(カンピーナス)	2002年
シラバコーン大学	タイ(バンコク)	2009年

## Interview 北井 葉月 ■薬学科/6回生 ■大阪府 ■奈良学園登美ヶ丘高等学校出身



令和元年9月、フロリダ大学薬学部にて7日間の研修に参加させていただきました。アメリカにおける薬学が日本とどう違うのかを体験し今後の修学に活かすことで、将来の進路を考える助けになると考えたからです。

フロリダ大学で薬学部はcollege of pharmacyと呼ばれ、生物・化学系の学部を卒業した学生が薬学部に入學し、4年間の臨床に特化したプログラムを受けます。それぞれの学年の授業に参加させていただき特に印象的だったことは、学生同士で意見を交わしている姿が多く見受けられたことです。授業自体も学生の意見を聞きながら進められていくものが多く、受け身にならず積極的に自分の意見を発信することに慣れている様子でした。

日本にはないものでcompounding pharmacyと呼ばれる患者さんに合わせて様々な薬をつくる薬局を見学しました。そこでは、テクニシャンによってカプセル型の薬が手作業で作られていたり、症状に合わせて形が工夫された薬が作られていたりしました。個別化医療が進んでいると感じ、これからますます求められるものであると思いました。マネージャーの方が自分のやりたいことを決める素晴らしい場所だとおっしゃっていたことにとっても感銘を受けました。

その他にも病院の薬剤部やドラッグストア、研究室など様々な場所で実際にそこで働く方々のお話をたくさん聞くことができました。今回の研修では自分の意見を相手に伝えて議論することの大切さや薬剤師の役割は限られたものではなく広がっていくものであることを学びました。アメリカと日本ではそれぞれの医療体制によって薬剤師の役割が異なりますが、違いを知ることにより良いものにしていくことができると思うので、学生のうちに海外研修に行くことができたことはとても貴重な機会だったと思います。視野を広げるうえでコミュニケーション能力は求められるものであり、様々な国の人と意思疎通を図るにはやはり英語を使えることが大事であると痛感しました。今後、研究と病院・薬局実習を経験して自分がどのような形で薬学を通して社会貢献をすることができるのかを考えていきたいと思っています。

 **キャンパスライフ**



- 入学式
- 新入生ガイダンス
- 前期授業開始

- 早期体験実習

- 夏季休暇
- 関西薬学生連盟競技大会
- 学生募集要項(推薦A)発表

**4**  
April

**5**  
May

**6**  
June

**7**  
July

**8**  
August

**9**  
September

- 早期体験実習
- 学外研修
- 五月祭

- 前期試験





■ 早期体験実習

■ 大学院博士課程入学試験  
■ 後期試験

10  
October

11  
November

12  
December

1  
January

2  
February

3  
March

■ 後期授業開始  
■ 創立記念日  
■ 薬大祭  
■ 学生募集要項  
(推薦B・一般)発表

■ 学内駅伝大会  
■ 冬季休暇

■ 学位授与式  
■ 入学試験





## クラブ紹介



### 文化系クラブ

- 植物研究
- 薬学研究
- 写真
- ESS
- 茶道
- コーラス
- マンドリン
- 軽音楽
- 美術
- 東洋医学研究
- 囲碁・将棋
- 演劇
- アンサンブル





## 体育系クラブ

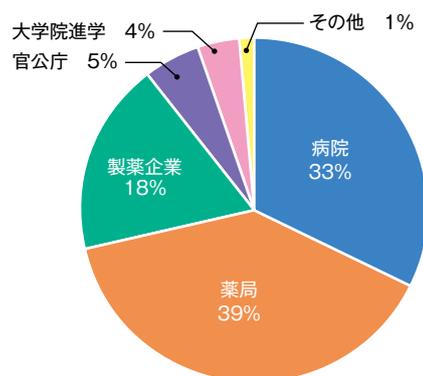
- |            |          |
|------------|----------|
| ● 硬式テニス    | ● バレーボール |
| ● ソフトテニス   | ● バドミントン |
| ● 硬式野球     | ● 卓球     |
| ● 柔道       | ● 弓道     |
| ● 剣道       | ● 空手     |
| ● 陸上競技     | ● スキー・山岳 |
| ● サッカー     | ● ゴルフ    |
| ● バスケットボール | ● ダンス    |



産業構造が大幅に変化し、人材要求は大きく変わりつつあります。量から質への移行にともない、本物志向の有能な人材が求められています。

学生の真価が社会で問われ、本学においてもその期待に応えることができる人材養成に努めています。就職指導は、学生の希望と適性に応じ、きめ細かく行われています。職種は、化学および製薬企業の研究・開発・学術・営業、病院や薬局の薬剤師、国家公務員や地方公務員など、多種にわたっています。毎年、ほぼ100%の就職率を示しています。なお、本学の薬剤師国家試験の合格率は毎年高い水準を誇っています。

## 令和3年度 薬学科卒業生 就職・進学状況(77名)



## 学部的主要な就職・進学先一覧(過去4年間)

〈薬局〉	〈企業〉	〈病院〉	〈官公庁〉
アイセイ薬局	アストラゼネカ	安城更生病院	愛知県
ウエルシア薬局	エーザイ	一宮市民病院	大阪市
杏林堂薬局	小野薬品工業	愛媛大学医学部附属病院	岐阜県
クスリのアオキ	興和	大垣市民病院	岐阜県警察科学捜査研究所
ココカラファイン	小林製薬	大阪大学医学部附属病院	岐阜市
サンドラック	塩野義製薬	大阪労災病院	名古屋市
ショーワ薬局	ジョンソンエンドジョンソン	木沢記念病院	岐阜県
スギ薬局	第一三共	岐阜県総合医療センター	名古屋市
総合メディカル	大正製薬	岐阜県立多治見病院	東京都
たんぼ薬局	大鵬薬品工業	岐阜大学医学部附属病院	兵庫県
中部薬品	中外製薬	九州大学病院	福岡県
日本調剤	日本新薬	京都府立医科大学附属病院	〈大学院(本学以外)〉
阪神調剤薬局	久光製薬	倉敷中央病院	名古屋大学大学院
ファルマネットみなみ	ファイザー	江南厚生病院	
ゆう薬局	藤本製薬	神戸市民病院機構	
瑠璃光薬局	持田製薬	小牧市民病院	
		滋賀医科大学医学部附属病院	
		市立秋田総合病院	
		市立福知山市民病院	
		信州大学医学部附属病院	
		諏訪中央病院	
		聖マリアンナ医科大学病院	
		筑波メディカルセンター病院	
		東京大学医学部附属病院	
		東北大学病院臨床研究推進センター	
		名古屋市立大学病院	
		名古屋大学医学部附属病院	
		藤田医科大学病院	
		松波総合病院	
		三重県立総合医療センター	
		宮崎大学医学部附属病院	
		山梨大学医学部附属病院	

## Interview



■ 滋賀医科大学医学部附属病院  
薬剤部

■ 令和2年度 薬学科卒業

松宮 英美里

「がん医療」、「新生児・産科医療」、「アレルギー医療」、「難病医療」、「救急・災害医療」に取り組んでいる病院です。

レジデント1年目では調剤室業務の他にも、製剤室、中央手術部、化学療法管理室、薬効薬物動態解析室、医薬品情報管理室、治験薬等管理室などの部署をローテーションし、各部署の薬剤師の働きについて学びました。さらに栄養サポートチーム(NST)や感染制御チーム(ICT)、医療安全管理部のカンファレンスに参加し、チーム医療の一員として薬剤師に求められる役割を肌で感じました。

病棟は、大学時代の実務実習から興味を持っていた糖尿病内分泌内科や腎臓内科がある病棟に配属されています。持参薬鑑別や服薬指導といった業務の他にも、糖尿病患者さまを集めた糖尿病教室で薬物治療について講義を行っています。入院時には病識が薄かった患者さまが、薬効や低血糖時の対応など糖尿病について理解を深めて退院される姿を見てやりがいを感じています。また腎カンファレンスに参加し、腎機能が低下傾向にある患者さまに対し医師や看護師などの多職種と連携しながら指導を行っています。腎機能が低下した患者さまでは減量や禁忌に該当する薬剤が多く、普段の調剤業務においても薬剤師がチェックする重要性を実感しています。

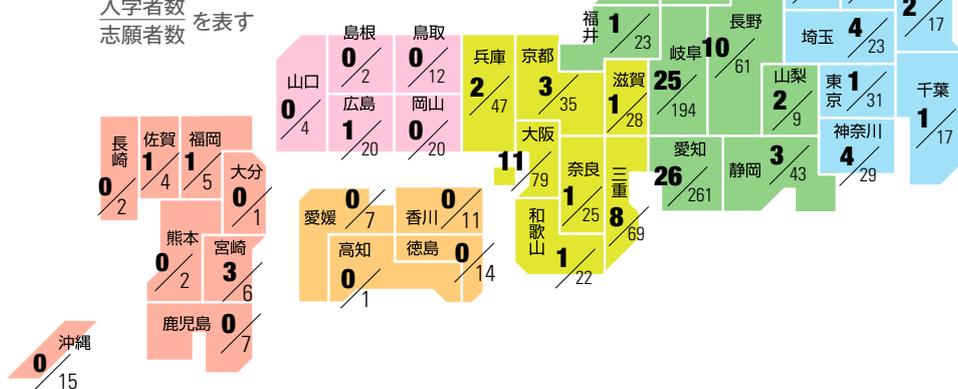
岐阜薬科大学は単科大学で規模は決して大きくありません。しかし、部活動や研究室、同じ地方出身の学生や先生が集まる県人会などを通して友人、先輩、後輩、先生としっかりとつながりを持つことができます。中国薬科大学等からの交換留学生との交流や学会発表の経験も自らの視野を広げてくれます。私も大学生生活で得た貴重な経験が、入社してからの糧になっていると実感しています。皆さんにはこの岐阜薬科大学で仲間と共に充実した大学生を送り、自分の夢を実現されることを大いに期待しています。

# 入試データ

年度	志願者数 (A)	受験者数 (B)	合格者数 (C)	入学者数 (D)	倍率 (A/C)	
平成29	薬学科	1,007	699	201	130	5.01
平成30	薬学科	1,134	788	199	132	5.70
令和元 (平成31)	薬学科	1,152	771	199	132	5.79
令和2	薬学科	1,015	649	174	118	5.83
令和3	薬学科	946	698	190	140	4.98
令和4	薬学科	1,301	978	181	120	7.19

## 出身高校別 志願者数・入学者数 (令和4年度)

入学者数  
志願者数 を表す





#### 岐阜薬科大学へのアクセス

##### ■本部・大学院

JR岐阜駅または名鉄岐阜駅から岐阜バスにて  
約30分～40分

- 岐阜大学・病院線または岐南町線「岐阜大学病院」行き  
「岐阜大学病院」バス停下車徒歩5分

##### ■三田洞キャンパス

JR岐阜駅または名鉄岐阜駅から岐阜バスにて  
約30分～40分

- 茜部三田洞線「三田洞団地」行き  
「三田洞自動車学校口」バス停下車徒歩3分



## 岐阜薬科大学

Gifu Pharmaceutical University

#### 本部・大学院

〒501-1196 岐阜市大学西1丁目25-4  
TEL 058-230-8100 FAX 058-230-8105

#### 三田洞キャンパス

〒502-8585 岐阜市三田洞東5丁目6-1  
TEL 058-237-3931 FAX 058-237-5979

<https://www.gifu-pu.ac.jp>